

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

瑞浪市地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考	
1-1 JR、路線バス、タクシーの維持、活性化	1-1-1 JR瑞浪駅、釜戸駅の人口千人あたりの年間乗車回数	瑞浪駅 36,672回/千人・年 釜戸駅 2,139回/千人・年 (令和3年度) →維持	—	乗車人数： 交通事業者からデータ提供 人口： 住民基本台帳	—	—	交通事業者よりデータ提供が可能となったのち評価を行う。
	1-1-2 路線バス、タクシーの人口千人あたりの年間乗車回数	路線バス 1,480回/千人・年 タクシー 2,238回/千人・年 (令和3年度) →維持	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃鉄道株式会社では、土岐紅陵高校を経由する路線再編を検討し、入学者学校説明会にて周知活動を実施した。 <p>【タクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハローワークや求人サイト、人材紹介会社の活用により、乗務員を採用した。 キャッシュレス決済を可能とした。 	乗車人数： 交通事業者からデータ提供 人口： 住民基本台帳	<p>路線バス 1,065回/千人・年 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：C】 (数値目標の8割未満達成)</p> <p>タクシー 1,250回/千人・年 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：C】 (数値目標の8割未満達成)</p>	<p>【路線バス】</p> <p>令和7年10月より明智線の運行回数を減らしたことにより目標値を下回った。市では、令和8年度より、明智線の利用促進を目的とし、400円上限運賃制度と高校生等定期券補助制度を導入することとしたため、周知に努める。</p> <p>【タクシー】</p> <p>事業者は引き続き効率的な運営体制や利便性向上の取組を実施する。市はタクシー不足に関する地元要望を把握し、事業者にも共有する。</p>	
2-1 コミュニティバス、デマンド交通の活性化	2-1-1 コミュニティバス、北部デマンド交通の人口千人あたりの年間利用回数	コミュニティバス1,743回/千人・年 北部デマンド交通 53回/千人・年 (令和4年度) →維持	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月より、交通空白地を改善して利便性を高めるためコミュニティバス陶線をデマンド交通へ転換した。 利用者アンケート及び地区要望にて利用実態やニーズを把握し、バス停の新設及び移設、北部デマンド交通の乗降場所の新設を行った。 	乗車人数： 市資料 人口： 住民基本台帳	<p>コミュニティバス1,956回/千人・年 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：A】 (数値目標の10割達成)</p> <p>北部デマンド交通 53回/千人・年 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：A】 (数値目標の10割達成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス、北部デマンド交通ともに目標を達成することができたため、引き続き、アンケート及び地区要望にて利用実態やニーズを把握し、運行内容へ反映する。 	
	2-1-2 陶デマンド交通の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合	30%≦実績運行回数/(計画運行日数×3回)×100 →30%以上を維持	<ul style="list-style-type: none"> 陶連合区会と協議の上、陶デマンド交通運行説明会を合計8回行った。また、利用方法を盛り込んだ時刻表を作成し、利用登録票と併せて陶地区の全戸へ配布した。 	実運行回数、総運行予定回数： 市資料	<p>令和7年10月～令和8年3月：5.9% 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：C】 (数値目標の8割未満達成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月から始まった制度であり、認知度が低いこともあり、目標を達成することができなかった。 引き続き周知を図るとともに、アンケート及び地区要望にて利用実態やニーズを把握し、運行内容へ反映する。 	

2-2 高齢者、高校生の 利用維持、向上	2-2-1 地域公共交通による人 口カバー率	83.4% (令和2年) → 85.0%	—	人口： 国勢調査 メッシュ人口	—	—	5年毎に評価を実施
3-1 持続可能な仕組み の構築	3-1-1 コミュニティバス、デ マンド交通の収支率	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス 8.8% = 収入(5,129千円)/経費(58,581千円) × 100 ・北部デマンド交通 12.6% = 収入(768千円)/経費(6,079千円) × 100 (令和4年度) ・陶デマンド交通 10% = 収入(288千円)/経費(2,880千円) × 100 (年間見込額) → 基準値計算式における収入に対し人口増減率を加味 した数値を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年2月に公立東濃中部 医療センターが開院し、JA岐 阜厚生連が現在の健康管理セ ンター（後の診療所）と新病 院を結ぶシャトルバスを運行 することとなった。これに伴 い、シャトルバスと市内の公 共交通との乗り継ぎを強化す るため、診療所バスターミナ ルの整備を計画した。 ・時刻表の裏面の有料広告の 募集を行い、7事業者より応 募があった。 	収入、経費： 市資料 人口： 住民基本台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス 10.4% 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：A】 (数値目標の10割達成) ・北部デマンド交通 13.3% 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：A】 (数値目標の10割達成) ・陶デマンド交通 2.0% 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：C】 (数値目標の8割未満達成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスと北部デマンド 交通は目標を達成することができ ているが、前年度とほとんど横ばいと なっているため、引き続き利用促進 を図る。 ・陶デマンド交通については、制度 が始まったばかりであり、認知度が 低く、目標を大きく下回ったため、 周知に努める。 ・診療所バスターミナルについて、 関係各所と調整を行い、診療所の開 院に合わせた供用開始を目指す。 	
	3-1-2 市の運行費用負担額	58,763千円 (令和4年度) → 基準値計算式における収入に対し人口増減率を加味 した数値を維持		運行費用負担額：市資料 人口： 住民基本台帳	54,949千円 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：B】 (数値目標の8割以上10割未満達成)		
3-2 地域公共交通の魅 力度の向上	3-2-1 運転免許証自主返納支 援制度の申請者数	75人 (令和4年度) → 増加	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に14日間、自動運転技 術導入の可能性及び安全技術 を検証するため、JR瑞浪駅か ら瑞浪市役所の往復約1.9km で自動運転レベル2にて実証 運行を実施した。 ・時刻表を作成し、市内全戸 配布を行った。令和8年度か からは、時刻表の中で運転免許 証自主返納支援制度について も記載し、更なる周知を図っ た。 ・デマンド交通の出張乗り方 教室を計画し、小学校にて開 催した。 ・観光協会は、観光利用向け のデマンド交通を運行した。 ・市役所にて運転免許証自主 返納出張窓口（7月、12月で 各1日）を開設し、返納しや すい環境を調えた。 	運転免許証自主返納支援制度 の申請者数： 市資料	令和7年度：57人 【瑞浪市地域公共交通計画の評価：C】 (数値目標の8割未満達成)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全戸に時刻表を配布し、公共 交通の利用促進へ繋げる。 ・デマンド交通の出張乗り方教室を 開催し、新規登録者を獲得する。 ・運転免許証自主返納出張窓口開設 時に、公共交通機関への利用転換を 図る。 	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。